

安芸府中高等学校生徒がハワイ日米協会と 佐々木禎子さんに関わる双方の取組について交流します！

安芸府中高等学校の生徒が、ハワイ日米協会(Japan-America Society of Hawaii)とオンラインで、平和記念公園「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木禎子さんに関わる双方の取組について交流し、平和の在り方についての考えを更に深めるきっかけとします。

1 日 時 令和8年7月21日(火) 12:30~13:30

2 場 所 安芸府中高等学校(安芸郡府中町山田五丁目1-1)

3 交流概要(オンラインによる交流)

- ・交流参加者による自己紹介
- ・ハワイ日米協会が取り組む“SADAKO PEACE PROJECT”の説明と質疑応答
- ・安芸府中高等学校生徒が取り組む平和紙芝居「原爆の子 さだ子の願い」の説明と質疑応答(英語で行う紙芝居の様子を映像で紹介)
- ・ハワイ日米協会からのコメント

4 平和紙芝居「原爆の子 さだ子の願い」

府中町在住の中村由利江さん、国際交流協会の小柴浩美さんが取り組んでいたこの紙芝居を、平成27年から本校生徒が地元の中学校の生徒と一緒に、毎年8月6日に平和記念公園で上演し、公園を訪れた方々に見ていただいています。



平和記念公園での紙芝居上演の様子

5 その他

- ・8月6日(木)に本校生徒が平和記念公園で実施する平和紙芝居を、ハワイ日米協会が主催するHiroshima Peace Scholarship Programにより派遣される2名のハワイの高校生が実際に見て意見交換を行う場の設定を、現在調整中です。
- ・本取組への取材を希望される場合には、事前に上記担当者まで御連絡ください。